

I 平成28年度事業報告書

(平成28年4月1日から平成29年3月31日まで)

当協会は、昭和23年8月に財団法人埼玉県消防協会として設立され、「消防思想を普及徹底し、消防諸施設の改善と消防活動の強化を図り、もって社会の災害を防止し、人類共通の福祉の増進に寄与すること。」を目的に活動している。

公益法人制度改革関連法の規定に基づき、平成24年4月1日付けをもって、公益財団法人埼玉県消防協会へ移行した。この移行と共に公益性をより高め、県民の更なる安心・安全の確保を図り、福祉の増進に寄与することが求められている。

当協会の事業の内容は、地域の消防・防災活動の中核的な担い手である消防団員及び消防職員への支援を通じ、地域の災害の防止に貢献するための事業を行っているが、その概要は次のとおりである。

1 主な事業の概要

(1) 第29回埼玉県消防操法大会

平成28年8月20日(土)県消防学校を会場とし、県と共催により実施した。

ポンプ車の部に11隊、小型ポンプの部に4隊が出場、参加消防団の技術の向上と士気の高揚並びに団結心の強化が図られ、消防団活動の充実発展に寄与した。

なお、ポンプ車の部では日高市消防団が、小型ポンプの部では小鹿野町消防団が優勝の栄誉に輝いた。

小型ポンプの部で優勝した小鹿野町消防団は、平成28年10月14日(金)に長野県で開催された第25回全国消防操法大会に出場した。

(2) 第68回定例表彰式

ア 表彰式概要

平成28年10月27日(木)「さいたま市民会館うらわ」を会場として、消防団、消防団員及び企業など延べ41団体2,507人を表彰した。

イ 死亡特例表彰

在職中に死亡した消防団員16人に死亡特例表彰を授与した。

(3) 慰霊祭事業

ア 慰霊祭

平成28年11月21日(月)県消防学校の屋内訓練場を会場として、消防殉職・殉難者84柱の御霊に対する慰霊祭を挙行、遺族及び消防関係者307人が参列した。

イ 死亡弔慰金の交付

在職中に死亡した消防団員20人、消防職員4人の計24人の遺族に対して弔慰金を交付した。

(4) 消防団員研修事業

ア 住宅用火災警報器設置推進指導員研修

県防災学習センターにおいて、県内における住宅用火災警報器の設置率向上を目的とし、坂戸・鶴ヶ島消防組合消防本部予防課の「小川浩明氏」を講師に迎え、住宅用火災警報器設置推進指導員研修を2回実施、消防団員等196人(女性46人)が受講した。

回数	実施日	受講者数(うち女性団員数)
第1回	平成28年9月24日(土)	100人(24人)
第2回	平成28年9月24日(土)	96人(22人)
合	計	196人(46人)

イ 女性消防団員研修

消防学校専科棟において、女性消防団員を対象として災害時の被害軽減を目的とした「DIG訓練(災害図上訓練)」を実施した。

講師は、元川越市消防団員で、「埼玉県防火防災指導者」並びに「防災士」として活躍中の「田中緑氏」及び同じく防災士の「大沼早苗氏」「二崎博美氏」「高橋さとみ氏」「対馬代志子氏」に依頼した。

なお、田中緑氏以外の4名の方々は、現役の女性消防団員である。

実施日	受講者数
平成28年10月1日(土)	75人

ウ 消防団長等幹部研修会

平成28年12月2日(金)さいたま市別所沼会館において、消防団長等幹部研修会を開催した。

同研修会等には、消防団長等90人が参加した。

講師には、埼玉県出身で陸上自衛隊化学学校副校長兼企画室長一等陸佐「岩熊真司氏」を招き、「原発事故における自衛隊の対応について」の講演が行われ、大変好評であった。

エ 消防団員基礎教育研修

県消防学校と連携し、現地研修修了者（概ね入団3年以内）の新入消防団員を対象とした基礎教育研修を5回実施、合計497人（女性55人）が受講した。

回数	実施日	受講者数（女性数）
第1回	平成28年12月17日（土）	79人（8人）
第2回	平成29年2月4日（土）	131人（12人）
第3回	平成29年2月25日（土）	116人（16人）
第4回	平成29年3月4日（土）	84人（11人）
第5回	平成29年3月11日（土）	87人（8人）
合計		497人（55人）

オ 消防団員幹部研修（初級幹部科・指揮幹部科）

県消防学校と連携し、消防団幹部を対象とした初級幹部科・指揮幹部科（現場指揮課程・分団指揮課程）の研修を実施した。

種別	実施日	受講者数（女性数）
初級幹部科	平成29年1月13日（金） 1月14日（土）	94人（2人）
指揮幹部科	分団指揮課程 平成29年1月21日（土）	86人（0人）
	現場指揮課程 平成29年3月17日（金） 3月18日（土）	52人（0人）
合計		232人（2人）

カ 日本消防協会研修

「消防団幹部特別研修」に男性団員1人（さいたま市）、「消防団幹部候補中央特別研修」に男性団員3人（2・3・4ブロック各1人）、女性団員2人（2・3ブロック各1人）を日本消防協会に推薦、全員が受講した。

(5) 普及啓発・活性化事業

ア 埼玉県女性消防団員大会

平成28年12月10日（土）、三郷市文化会館を会場とし、県内全消防団の協力の下、埼玉県及び三郷市の後援を受け実施し、消防関係者等649人が参加した。

この大会は、昨年度に引き続き、女性消防団員の活性化を目的に開催したもので、地元三郷市女性消防団アザレア分団によるハンドベル

でのウェルカムコンサートや消防団員による活動事例発表、火災予防等啓発劇のほか、女性消防団員に対するメッセージが数多く披露された。

また、この大会の中で、11月1日は「埼玉県女性消防団員の日」さらに「女性消防団 支えあう力 そして絆」と大会のテーマが力強く宣言された。

イ 全国女性消防団員活性化事業

第22回全国女性消防団員活性化「北海道大会」が平成28年6月3日（金）に開催され、本県からは、消防協会長のほか18消防団から女性消防団員等関係者87人が参加した。

ウ 防火ポスター・防火防災作文の募集及び配布

全日本消防人共済会の依頼を受け、県内小中学校あてにポスター等の募集を行うとともに、防火ポスターの配布を行った。

今年度は、応募のあった10点から防火ポスター2点を推薦し、越谷市立北陽中学校1年生「長野茜さん」の作品が最優秀賞に、三郷市立高州小学校6年生「佐藤萌々さん」の作品が優秀賞に輝き、長野さんの作品は、防火ポスターとして全国に配布された。

なお、本県にも全日本消防人共済会から提供があり、防火ポスター1,066枚を県内消防団に配布した。

エ 埼玉県防災講演会

埼玉県防災学習センターとの共催により、県内2会場において災害リスク評価研究所代表の「松島康生氏」を講師に迎え、県民、消防職団員等を対象に防災講演会を実施した。

なお、開催地、実施日及び受講者等については、以下のとおりである。

回数	開催場所	実施日	受講者数
第1回	行田市教育センターみらい	平成28年 7月30日（土）	304人
第2回	坂戸市入西地域交流センター	平成28年11月26日（土）	122人
合 計			426人

オ 防火防災指導者人材バンク事業

県民の防災意識の高揚を図るため、防災に関する知識や経験を持つ消防職・団員OBなどを防災講演会や防災訓練の指導者として、自主防災会、自治会及び企業等に派遣している。

なお、平成28年度の派遣件数は2件2名、防火防災指導者の登録総数は94人である。

(6) 福利厚生事業

ア 消防団員等福祉共済制度

公益財団法人日本消防協会による、消防職団員を対象とした消防団員等福祉共済の加入給付手続を行っている。

平成28年度は、遺族援護金15件、障害見舞金6件、生活援護金1件、入院見舞金39件、合計61件で総額19,392,000円を給付した。

イ 育英支援金の給付

育英支援規程による、殉職消防職団員の遺児に対する育英支援金の給付を行っている。

平成28年度は該当なしであった。

2 役職員に関する事項（平成29年3月31日現在）

(1) 役員数

役 職 名	常 勤	非 常 勤	備 考
会 長	0	1名	代表理事
副 会 長	0	4名	理事
理 事	1名	17名	専務理事1、常務理事1
監 事	0	4名	団長職2、会計管理者2
評 議 員	0	16名	団長職
計	1名	42名	

(注) 同一親族等特別な関係にある者の理事等の役員に占める割合0%

(2) 事務局職員数

常務理事兼事務局長	(常 勤)	1名
次 長	(常 勤)	1名
主 査	(常 勤)	1名
書 記	(非常勤)	1名

(3) 組 織

ア 役 員

会 長(1) 坂田秋雄(団長)

副会長(4) 西田哲三(団長) 内村良一(団長) 倉田健次(団長) 針替一浩(団長)

理 事(18) 新井義一(専務理事) 坂本静男(常務理事)

槍田義之(県危機管理防災部長)

団 長(10)
市 長 会(2)
町 村 会(2)
消 防 長 会(1)

監 事 (4) 団 長 (2)
市 会 計 管 理 者 (2)

評 議 員 (16) 団 長 (16)

イ 事務局

常務理事兼事務局長	(1)	坂 本 静 男
次 長	(1)	小 竹 清 司
主 査	(1)	鷹 野 淳 子
書 記	(1)	舞 原 美 智 子

3 その他

付属明細書

「事業報告の内容を補足する重要な事項」が存在しないので作成しない。